

①ご挨拶（中国運輸局 交通政策部長 中井智洋）

このたび7月31日付けで、中国運輸局の交通政策部長を拝命しました中井です。山陽新幹線が博多まで全通して40周年という節目の年に、中国地方で勤務できることに大きな喜びを感じています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

中国地方での勤務は初めてですが、これまで東京の運輸省・国土交通省本省以外で、内閣官房（東京）、運輸施設整備事業団（横浜）、四国運輸局（高松）、韓国の日本大使館（ソウル）で勤務した経験があります。それぞれの職場で、中国地方に関する、また中国地方の方々とも一緒に仕事をさせていただきました。

年代順に、まず、内閣官房では、「都市再生」が内閣の最重要課題となった折、都市再生本部事務局の初代の事務局員として、都市再生特別措置法の制定と法に基づく都市再生緊急整備地域の指定に携わりました。中国地方では、「岡山駅周辺・表町地域」と「広島駅周辺地域」の2地域を指定し、その際、県や市の方々にもお世話になりました。

運輸施設整備事業団では、昔の船舶整備公団関係の業務に従事しました。瀬戸内海の某島にある造船所で、共有船の進水式に出席させていただきました。

四国運輸局では、地方にある「日本の原風景」の美しさに触れるとともに、「クルマ社会」の深刻さに驚き、公共交通活性化と観光による地域振興を図るため、自治体や事業者のみならずとも考え、できることは何でもしました。海を挟んでお向かいの中国地方とも、瀬戸内海の多島美（東洋のエーゲ海）と船を活用した観光振興に取り組みました。

韓国の大使館では、旧運輸省から派遣されている唯一の専門家として、観光・航空・海運、鉄道関係の業務に従事しました。韓国は、昨年台湾に抜かれるまでの間、訪日外国人数が長年、最も多かった国です。私は、JNTO とともに、ビジットジャパン事業として、中国地域観光推進協議会や管内5県・市、観光団体・事業者がプロモーションする際のお手伝いをさせていただきました。また、広島、岡山、米子の各空港との航空便の利用促進や下関港、境港のポートセールス等、自治体や事業者の方々とはたくさん御一緒することができました。

もちろん、本省においても、中国地方に関するさまざまな仕事に携わりました。今回は、

敢えて現場に近い話ということで、外での経験を中心にご紹介させていただきました。

中国地方での勤務は初めてではありますが、このように列挙してみると、これまでの縁と絆の多さに驚くとともに、たいへん親しみを感じているところです。

さて、運輸局では、本年7月に組織再編を実施し、新たに「交通政策部」と「観光部」を設置しました。訪日外国人2000万人時代を見据え、また、広域周遊ルートの活用等のために観光セクションを独立・強化し、同時に、交通政策基本法の成立や基本計画の策定を受け、また、公共交通活性化・再編等に重点的に取り組むため、地方支分部局としては初めて「政策」という名前が付いた「交通政策部」を設けました。パワーアップした「観光と交通の運輸局」として、これまで以上に地方公共団体、交通や観光事業者、関係団体、地元のみなさま等とともに取り組んでまいりますので、引き続きよろしく願いいたします。組織改編に合わせて英語名称も Chugoku Transport & Tourism Bureau に変更しましたので、この場を借りてご紹介させていただきます。

また、私も、本メルマガをお読みになっているみなさまとともに、これまでの経験を活かしつつ、公共交通活性化や観光振興等を通じて、少しでも中国地方のお役に立ちたいと考えております。ともに中国地方を盛り上げていきましょう！